

2021年8月31日

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

MMDLabo株式会社

コロナ禍での支払いやお金の管理に関する調査

コロナ禍で生活様式に変化があったことのトップは 「キャッシュレス決済で支払うことが増えた」

キャッシュレス決済全体に求めるものは「ポイント」「セキュリティ」「素早い会計」

https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1991.html

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：スティーブン・カーピン、以下Visa）とMMDLabo株式会社（東京都港区、代表取締役：吉本浩司）が運営するMMD研究所は共同で、2021年8月17日～8月19日の期間で「コロナ禍での支払いやお金の管理に関する調査」を実施いたしました。

対象者は日本在住の全国15～69歳の男女50,000人です。

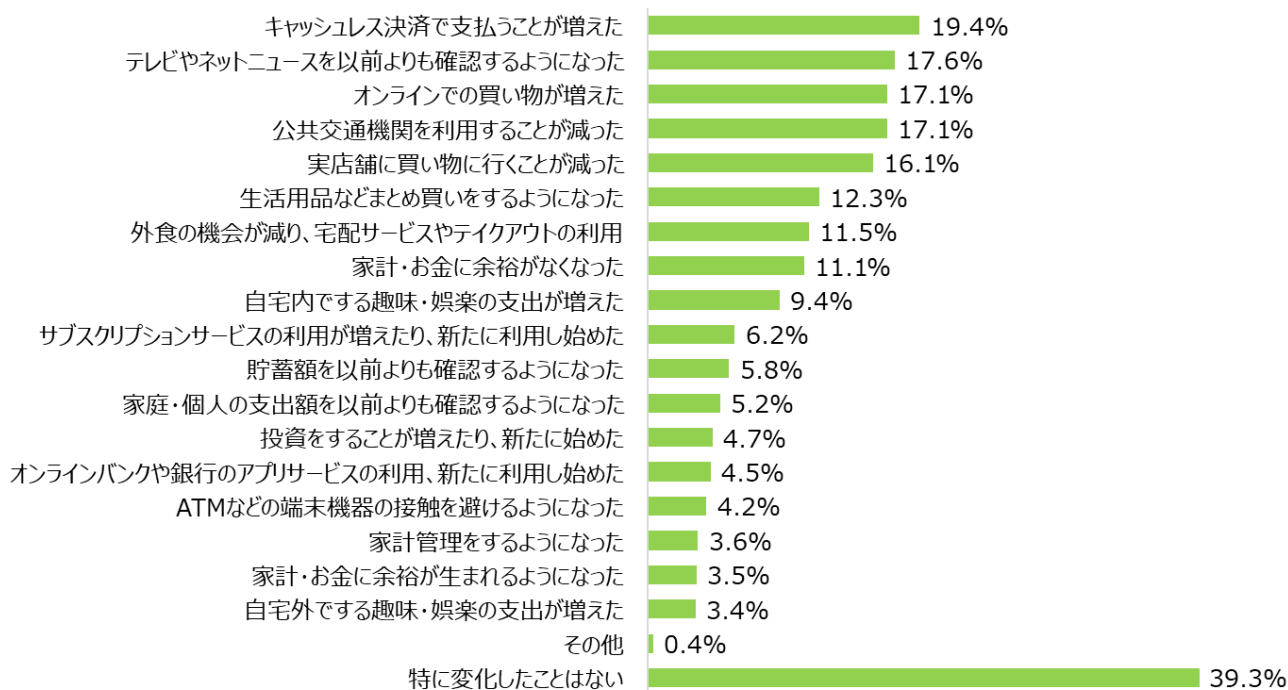
※本リリースでは、アンケート調査により回収されたサンプルを人口構成比に合わせるために、ウエイトバック集計しています。

【調査結果サマリー】

- コロナ禍で生活様式に変化があったことの全体トップは「キャッシュレス決済で支払うことが増えた」
- キャッシュレス決済全体に求めるものの上位は「ポイント」「セキュリティ」「素早い会計」
Z世代、ミレニアル世代は「ポイント」「素早い会計」「利用できる場所が多い」、40代は「ポイント」「セキュリティ」「素早い会計」、50代～60代は「ポイント」「セキュリティ」「利用できる場所が多い」と世代によって求めることに差がある
- コロナ禍で、キャッシュレス決済を利用している理由
クレジットカードとQRコード決済利用者：「ポイント還元率が良いから」
デビットカード、プリペイドカード、カード型電子マネー、タッチ式スマートフォン決済利用者：「素早く会計したいから」
- 消費、金銭管理への価値観や意識、「ポイントを意識して買い物」「お金を増やしたい」「将来のお金が不安」が上位にランクイン
下位にランクインした項目のうち、「たくさんお金を使いたい」「好きなものにお金を使いたい」はZ世代が全体の約2倍の回答に

■ **コロナ禍で生活様式に変化があったことの全体トップは「キャッシュレス決済で支払うことが増えた」**
 全国15～69歳の男女50,000人を対象に、新型コロナウイルスの感染拡大前後で普段の生活様式の変化について聞いたところ（複数回答可）、「キャッシュレス決済で支払うことが増えた」が19.4%と最も多く、次いで「テレビやネットニュースを以前よりも確認するようになった」が17.6%、「オンラインでの買い物が増えた」と「公共交通機関を利用することが減った」が17.1%となった。

● **新型コロナウイルスの感染拡大前後で普段の生活様式の変化（n=50,000）**



2021.8 Visa×MMD研究所

これを世代別で見ると、どの世代も「キャッシュレス決済で支払うことが増えた」という回答がランクインしているが、Z世代は「オンラインでの買い物が増えた」「自宅内での趣味・娯楽の支出が増えた」、ミレニアル世代は、「オンラインでの買い物が増えた」「公共交通機関を利用することが減った」、60代は「テレビやネットニュースを以前よりも確認するようになった」が上位にランクインする結果となった。

世代ごとに生活様式の変化の項目は異なるものの、全世代で「キャッシュレス決済で支払うことが増えた」という回答が上位にランクインしており、コロナ禍がキャッシュレス決済の普及が加速した一因と考えられる。

● 新型コロナウイルスの感染拡大前後で普段の生活様式の変化 ※生活様式に変化があった上位5位抜粋

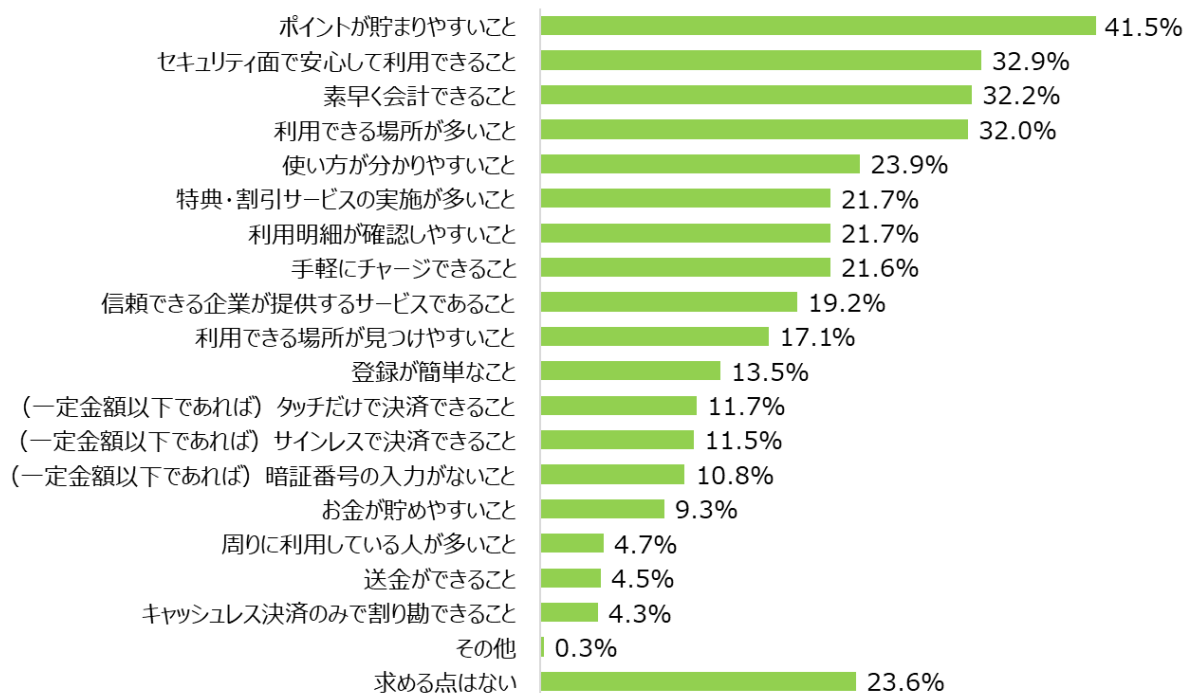
	n数	キャッシュレス決済で支払うことが増えた	テレビやネットニュースを以前よりも確認するようになった	オンラインでの買い物が増えた	公共交通機関を利用することが減った	実店舗に買い物に行くことが減った
全体	50,000	19.4%	17.6%	17.1%	17.1%	16.1%
Z世代 (15~25歳)	7,067	15.0%	13.3%	19.0%	12.0%	11.8%
ミレニアル世代 (26~39歳)	12,479	18.8%	12.9%	17.2%	14.4%	14.1%
10代	3,474	12.8%	15.1%	19.3%	10.9%	12.0%
20代	7,537	18.5%	11.7%	17.9%	13.3%	12.3%
30代	8,536	18.4%	13.3%	17.3%	14.8%	14.7%
40代	11,052	18.4%	17.0%	16.8%	16.1%	16.1%
50代	9,714	20.0%	19.5%	15.4%	17.9%	16.3%
60代	9,687	23.9%	25.6%	17.6%	24.4%	21.5%

2021.8 VisaxMMD研究所

■ キャッシュレス決済全体に求めるものの上位は「ポイント」「セキュリティ」「素早い会計」
Z世代、ミレニアル世代は「ポイント」「素早い会計」「利用できる場所が多い」、40代は「ポイント」「セキュリティ」「素早い会計」、50代~60代は「ポイント」「セキュリティ」「利用できる場所が多い」と世代によって求めることに差がある

全国15~69歳の男女50,000人を対象に、キャッシュレス決済全体に求めるものを聞いたところ（複数回答可）、「ポイントが貯まりやすいこと」が41.5%と最も多く、次いで「セキュリティ面で安心して利用できること」が32.9%、「素早く会計できること」が32.2%となった。

● キャッシュレス決済全体に求めるもの (n=50,000)



2021.8 VisaxMMD研究所

これを世代別で見ると、Z世代、ミレニアル世代は「ポイントが貯まりやすいこと」「素早く会計できること」「利用できる場所が多いこと」の3項目が上位にランクインし、40代は「ポイントが貯まりやすいこと」「セキュリティ面で安心して利用できること」「素早く会計できること」がランクイン、50代～60代は「ポイントが貯まりやすいこと」と「セキュリティ面で安心して利用できること」「利用できる場所が多いこと」となった。

どの世代ともに「ポイントが貯まりやすいこと」が1位だが、次点はZ世代、ミレニアル世代はスピードを重視するのに対し、50代～60代はセキュリティ面を上げており、支払い手段へのニーズの多様化が見て取れる結果となった。

● キャッシュレス決済全体に求めるもの ※求めるもの上位5位抜粋

	n数	ポイントが貯まりやすいこと	セキュリティ面で安心して利用できること	素早く会計できること	利用できる場所が多いこと	使い方が分かりやすいこと
全体	50,000	41.5%	32.9%	32.2%	32.0%	23.9%
Z世代 (15～25歳)	7,067	30.5%	23.3%	25.7%	25.2%	19.9%
ミレニアル世代 (26～39歳)	12,479	39.6%	26.4%	27.4%	26.6%	20.4%
10代	3,474	29.6%	25.6%	27.9%	27.4%	21.6%
20代	7,537	34.9%	22.4%	25.4%	24.4%	19.1%
30代	8,536	40.3%	27.8%	27.6%	27.1%	20.6%
40代	11,052	44.2%	33.6%	31.4%	30.9%	24.3%
50代	9,714	44.8%	38.0%	35.1%	35.5%	26.1%
60代	9,687	45.6%	42.5%	41.4%	41.6%	28.6%

2021.8 Visa×MMD研究所

■ コロナ禍で、キャッシュレス決済を利用している理由

クレジットカードとQRコード決済利用者：「ポイント還元率が良いから」

デビットカード、プリペイドカード、カード型電子マネー、タッチ式スマートフォン決済利用者：「素早く会計したいから」

新型コロナウイルス感染拡大後に現金以外の支払い方法をしている人を対象に、新型コロナウイルス感染拡大後にキャッシュレス決済を利用している理由を聞いたところ（複数回答可）、各支払い方法で最も多かった理由は、クレジットカード利用者（n=35,149）とQRコード決済利用者（n=25,224）では「ポイント還元率が良いから」、デビットカード利用者（n=7,337）、プリペイドカード利用者（n=6,590）、カード型電子マネー利用者（n=22,901）、タッチ式スマートフォン決済利用者（n=12,486）では「素早く会計したいから」となった。

クレジットカードとQRコード決済利用者はポイントや割引サービスに関する項目を重視するのに対し、デビットカード、プリペイドカード、カード型電子マネー、タッチ式スマートフォン決済利用者ではスピードを重視し、生活に親和性のある項目がランクインする結果となった。

● 新型コロナウイルス感染拡大後、キャッシュレス決済を利用している理由 ※支払い方法別、上位5位抜粋

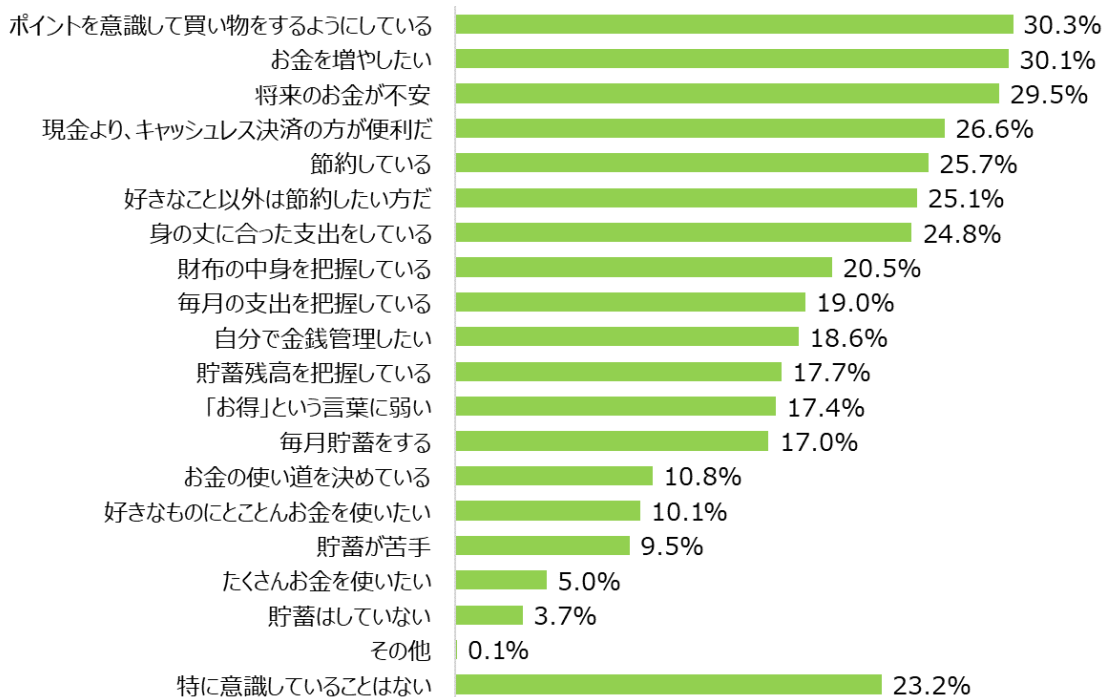
クレジットカード (n=35,149)			デビットカード (n=7,337)			プリペイドカード (n=6,590)		
1位	ポイント還元率が良いから	29.9%	1位	素早く会計したいから	15.6%	1位	素早く会計したいから	14.4%
2位	貯めているポイントや割引サービスと連動しているから	28.0%	2位	会計の際に現金を出すのが面倒だから	14.2%	2位	ポイント還元率が良いから	14.2%
3位	素早く会計したいから	20.3%	3位	ポイント還元率が良いから	13.4%	3位	会計の際に現金を出すのが面倒だから	13.6%
4位	会計の際に現金を出すのが面倒だから	19.8%	4位	ATMなどから現金を引き出すのが面倒だから	12.6%	4位	貯めているポイントや割引サービスと連動しているから	13.2%
5位	利用できる場所が多いから	17.4%	5位	貯めているポイントや割引サービスと連動しているから	11.9%	5位	よく行くお店で取り扱っているから	10.4%
カード型電子マネー (n=22,901)			タッチ式スマートフォン決済 (n=12,486)			QRコード決済 (n=25,224)		
1位	素早く会計したいから	28.3%	1位	素早く会計したいから	22.3%	1位	ポイント還元率が良いから	31.6%
2位	会計の際に現金を出すのが面倒だから	22.6%	2位	ポイント還元率が良いから	19.5%	2位	貯めているポイントや割引サービスと連動しているから	27.6%
3位	貯めているポイントや割引サービスと連動しているから	21.3%	3位	貯めているポイントや割引サービスと連動しているから	19.2%	3位	素早く会計したいから	22.3%
4位	ポイント還元率が良いから	17.9%	4位	会計の際に現金を出すのが面倒だから	18.9%	4位	会計の際に現金を出すのが面倒だから	20.4%
5位	よく行くお店で取り扱っているから	16.5%	5位	よく行くお店で取り扱っているから	12.3%	5位	キャンペーン、特典が魅力的だから	19.2%

2021.8 Visa×MMD研究所

- 消費、金銭管理への価値観や意識、「ポイントを意識して買い物」「お金を増やしたい」「将来のお金が不安」が上位にランクイン
 下位にランクインした項目のうち、「たくさんお金を使いたい」「好きなものにお金を使いたい」はZ世代が全体の約2倍の回答に

全国15～69歳の男女50,000人を対象に、消費、金銭管理についての価値観や意識について聞いたところ（複数回答可）、「ポイントを意識して買い物をするようにしている」が30.3%と最も多く、次いで「お金を増やしたい」30.1%、「将来のお金が不安」が29.5%となった。一方で、「貯蓄が苦手」「たくさんお金を使いたい」「貯蓄はしていない」の項目の回答は少ない結果となった。

● 消費、金銭管理についての価値観や意識 (n=50,000)



2021.8 Visa×MMD研究所

これを世代別で見ると、Z世代では「お金を増やしたい」「好きなこと以外は節約したい方だ」「将来のお金が不安」が上位にランクインし、「貯蓄が苦手」「たくさんお金を使いたい」「貯蓄はしていない」が下位にランクインする結果となった。さらに60代では「身の丈に合った支出をしている」「現金より、キャッシュレス決済の方が便利だ」「ポイントを意識して買い物をするようにしている」が上位にランクインし、「好きなものにとことんお金を使いたい」「貯蓄はしていない」「たくさんお金を使いたい」が下位にランクインした。

全体では上位の回答には世代別の差異はみられないものの、下位の回答のうち「たくさんお金を使いたい」はZ世代が9.5%、全体は5.0%、「好きなものにとことんお金を使いたい」はZ世代が19.5%、全体は10.1%と約2倍の差があり、消費、金銭管理についての価値観や意識が異なる結果となった。

● 消費、金銭管理についての価値観や意識 ※上位5位抜粋

	n数	ポイントを意識して買い物をするようにしている	お金を増やしたい	将来のお金が不安	現金より、キャッシュレス決済の方が便利だ	節約している
全体	50,000	30.3%	30.1%	29.5%	26.6%	25.7%
Z世代 (15~25歳)	7,067	20.1%	32.4%	23.2%	15.9%	17.8%
ミレニアル世代 (26~39歳)	12,479	29.9%	32.7%	29.2%	24.7%	22.3%
10代	3,474	17.0%	36.1%	23.2%	12.8%	17.9%
20代	7,537	26.0%	30.9%	25.7%	22.0%	19.4%
30代	8,536	30.5%	32.6%	29.9%	24.7%	22.9%
40代	11,052	33.0%	33.6%	33.3%	26.6%	26.1%
50代	9,714	32.7%	29.8%	32.8%	28.6%	29.7%
60代	9,687	32.9%	21.3%	27.0%	34.8%	31.5%

2021.8 Visa×MMD研究所

● 消費、金銭管理についての価値観や意識 ※下位5位抜粋

	n数	お金の使い道を決めている	好きなものにとことんお金を使いたい	貯蓄が苦手	たくさんお金を使いたい	貯蓄はしていない
全体	50,000	10.8%	10.1%	9.5%	5.0%	3.7%
Z世代 (15~25歳)	7,067	11.1%	19.5%	10.6%	9.5%	2.9%
ミレニアル世代 (26~39歳)	12,479	10.3%	12.4%	11.1%	6.3%	2.7%
10代	3,474	12.0%	22.7%	10.3%	11.0%	3.0%
20代	7,537	10.6%	15.4%	11.6%	7.7%	2.9%
30代	8,536	10.1%	11.5%	10.5%	5.7%	2.5%
40代	11,052	10.0%	8.7%	10.7%	4.8%	3.5%
50代	9,714	11.2%	6.6%	8.8%	3.1%	4.3%
60代	9,687	11.4%	5.1%	5.9%	1.9%	5.0%

2021.8 Visa×MMD研究所

※本調査レポートは小数点以下任意の桁を四捨五入して表記しているため、積み上げ計算すると誤差がでる場合があります。

※回答者の属性は会員登録後に無料レポートよりご確認ください。

【調査概要】

「コロナ禍での支払いやお金の管理に関する調査」

調査期間：2021年8月17日～8月19日

有効回答：50,000人

調査方法：インターネット調査

調査対象：15～69歳の男女

設問数：11問

【今回調査した全設問】

SC1 あなたの年間の世帯年収（手取り）の内、年間で貯蓄額に回すおおよその割合として最も当てはまるものをお選びください。

SC2 新型コロナウイルスの感染が拡大する前（2020年3月以前）数ヶ月間の、それぞれの支払い方法の平均的な利用頻度をお選びください。

SC3 新型コロナウイルスの感染が拡大した後（2020年3月以降）の、それぞれの支払い方法の平均的な利用頻度をお選びください。

SC4 新型コロナウイルスの感染が拡大した後（2020年3月以降）、あなたが現金以外の支払い方法（キャッシュレス決済）を利用し始めた理由として当てはまるものを全てお選びください。

SC5 新型コロナウイルスの感染が拡大した後（2020年3月以降）、あなたが現金以外の支払い方法（キャッシュレス決済）を利用している理由を全てお選びください。

SC6 下記のキャッシュレス決済に対するイメージとして、あなたに当てはまるものをそれぞれ全てお選びください。

SC7 新型コロナウイルスの感染が拡大する前と後で、あなたの普段の生活様式に変化はありましたか？変化したこととして当てはまるものを全てお選びください。

SC8 消費、金銭管理について、あなたの価値観や意識に当てはまるものを全てお選びください。

SC9 あなたがキャッシュレス決済全体に求めるものとして当てはまるものを全てお選びください。

SC10 あなたはデビット機能付きのキャッシュカードを持っていますか？現在の所有と利用に関して当てはまるものをお選びください。

SC11 新型コロナウイルスの感染が拡大した後（2020年3月以降）、あなたがATMを利用するタイミングとして当てはまるものを全てお選びください。